

花ちゃん、オー君、モンタ博士のかくかくドキドキ園立ててく4

国立市立国立第七小学校

平成29年1月27日 NO.86 (386)



オー君 「見て見てモンタ博士！こんなにカニがいたんだよ！」

モンタ博士「かわいいカニだね！^{や ほてんじん}谷保天神でつかまえたのかな。それでは、カニのお話^{はなし}については、フッタ博士よろしく！」

フッタ博士「はい。これはサワガニだね。きれいな水^{みず}の流れる所^{なが}や山^{ところ}の中の沢^{やま}にいるよ。」

オー君 「ゆでる前^{まえ}から赤^{あか}いけれど、食^たべられるの？」

フッタ博士「寄^き生^{せい}虫^{ちゅう}がいることがあるので、生^{なま}で食^たべてはいけないよ。からあげ料理^{りょうり}が有名^{ゆうめい}でおいしいね。それから、サワガニは、住^すんでいる地域^{ちいき}によって、体^{からだ}の色^{いろ}がちがうことがあるんだ。こうらが青^{あお}っぽくて、足^{あし}が白^{しろ}いサワガニを見つけてきてくれた子がいたよ。今、校長室前^かにいます（上の写真左上）。」

花ちゃん 「図鑑^{ずかん}に『雑食性^{ざっしょくせい}』って書いてあるけど、何^かを食^たべるんですか？」

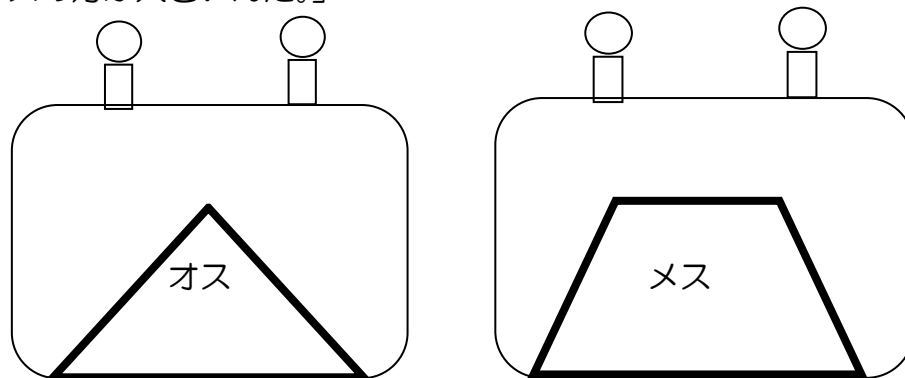
フッタ博士「飼^かうときには金魚^{きんぎょ}のえさでだいじょうぶだよ。野菜^{やさい}くずやご飯^{はん}つぶもよく食^たべるよ。水^{みず}のよごれによわいから、食^たべのこしはそうじして、こまめに水^{みず}かえしよう。山^{やま}の中では、あ^ある^{ある}歩^あきながらミミズ^たを食^たべたりしているよ。」

オー君 「えっ！水からはなれて歩くんですか？このあいだ『真水に住むサワガニは卵の中で育て、いきなり親のミニチュアで生まれてくる。』って、いってましたけど、卵はどこに産むのかな？水の中？土の中？」

フッタ博士 「子ガニがかえるまでメスが自分のおなかにかかえているんだ。おなかといってもエビのしっぽにあたる部分を折り曲げたところ。『カニのふんどし』とよぶところ。大きさは2mmくらいのイクラのようなきれいな卵を数十個。しばらく親子でくらすんだよ。」

花ちゃん 「女もつらいよ…。それにふんどしって、むかしの下着でしょ！？やだあ！」

フッタ博士 「サワガニのオス・メスは、はさみの大きさと見分けるといえるけれど、カニをうらがえして見るとふんどしの形で区別できるんだ。卵をかかえるためにメスの方が大きいんだ。」



オー君 「カニをつかまえたとき、足がとれたことがあるけれど、また生えてくるの？」

フッタ博士 「脱皮（からをぬいで大きくなること）する時に、生えてくるみたいだよ。」

トカゲのしっぽみたいに、敵におそわれると自分から足を切るらしいんだ。」

花ちゃん 「図鑑には『カワセミやサギなどの鳥、イノシシやイタチなどに食べられる』と書いてあるわ。」

フッタ博士 「生き物は、そうやって食べたり食べられたりしながら自然の中でくらすっているんだ。ふつうのカニは海にた〜くさんの卵をばらまいて、あとはほったらかし。サワガニは、少なく生んで大切に育てるタイプなんだ。サワガニは、きれいな水と豊かな自然のシンボル。みんなも大切にしようね！」

オー君 「は〜い。わかりました。」

花ちゃん 「は〜い。ありがとうございました。」

※サワガニの赤型と青型の子は、何色になるか研究中のようです。